

けやき

1983・12・20

No. 181

埼玉音鑑宣伝部

労音・埼玉音鑑・244回例会

フランス革命の理想—自由・平等・連帯を追求した
永遠の名曲を新星日響と県民が再び歌いあげる!!

交響曲第九番《合唱付》

BEETHOVEN



12/20(火) 開演 7:00 大宮市民会館ホール

■ プ ロ グ ラ ム

ベートーベン作曲
フィデリオ「序曲」
ベートーベン作曲
交響曲第九番「合唱付」

■ 指 挥

オンドレイ・レナルド

■ 管 弦 楽

新星日本交響楽団

■ ソ リ ス ト

〈ソプラノ〉 清水邦子
〈アルト〉 大藤裕子
〈テノール〉 牧川修一
〈バス〉 高橋啓三

■ 合 唱：埼玉第九合唱団

〈協演〉
県北第九合唱団

■ 合 唱 指 挥：宮 寺 勇

■ ピアノ伴奏：忍山真由美

出演者のプロフィル



指揮
オンドレイ
レナルド

チエコスロヴァキアのブ
ラチスラヴァの芸術アカデ
ミー卒業。卒業コンサート
でスロヴァキアを代表する
スロヴァキア・フィルハ
モニーを指揮する。在学中
から、合唱、オペラ、アン
サンブル、オーケストラな
どで活躍。一九七四年、ハ
ンガリー・ラジオテレビ局
主催の国際指揮者コンクー
ルで第三位入賞。一九六二
年より、スロヴァキア、ナ
ショナル劇場の指揮者。
一九七〇年、布拉チスラ
ヴァのラジオ・シンフォニ
ー・オーケストラの指揮者
に任命され、現在、首席指
揮者。一九七五年、スロヴァ
キア音楽基金から Frico.
Katenda 賞を受賞。同オ
演として、国内はもとより
東ドイツ、ブルガリア、ス
ペイン、ハンガリー、イギ
リス、イタリア、カナダな
どへ演奏旅行をおこない、
その音樂性、樂天性、各地
で熱烈な評価を得てゐる。
新星日本交響楽団は、一
九六九年に『聴く人々に喜
びと「明日」を与えるすぐれ
た音樂を創造したい』と芸
術大学出身の若い音樂家が
中心になって結成された我
國初の演奏家自身の自主運
営によるシンフォニーオー
ケストラです。

これまで、顧問の山田一
雄をはじめ内外の著名な指
揮者、ソリストをむかえて
の定期公演。「二期会」な
どのオペラ団、ソビエト國
立「ボリショイ」「レニン
グラード」をはじめとする
内外のバレエ団と共に、N
HKテレビ、鑑賞團体例会
ポピュラーコンサート、室



アルト
大藤裕子

新星日本交響楽団 演奏



ソプラノ
清水邦子

ソ連、ボーランド、西ドイツ、内楽などの公演。音樂鑑賞教室。を運営の三本柱とし
て全国に及ぶ一般、学校公演等、年間二百回をこえる演奏活動を続けています。
尚一九八〇年三月には財團法人化もなり、ますます期待されている。

第45回、46回毎日コンク
ール入選。
藤原歌劇団公演「イドメ
ネオ」(モーツアルト)の
エレクトラでデビュー。

立「ボリショイ」「レニン
グラード」をはじめとする
内外のバレエ団と共に、N
HKテレビ、鑑賞團体例会
ポピュラーコンサート、室

国立音楽大学卒業、畑中良輔、伊藤雯子、西内静に師事、在学中、東京室内歌劇場の「アマールと夜の訪問者」「村の予言者」(村娘役)、「テレシアスの乳房」に出演。

その後はパレストリーナハイライト公演、ジュネス音楽祭「レクイエム」(ヴエルディ)に出演。

72年、ウイーン市立音楽院に留学、ヒルデ・ツィードツク、ペーター・クラインに師事、「73年、オペラ・クラシズムを歌つたほか、教会コンサートでオラトリオなどのアルト・ソロを歌い、また同学院の新人演奏会に出演し、「74年夏に帰国、「75年夏に帰国、「75年夏に「魔笛」で待女を歌い、「75年度 音楽コンクール第1位、及び海外コンクール派遣代表者決定審査会で特別表彰を受賞。



一修

武藏野音楽大学卒業。宮原卓也、疋田生次郎、石田栄に師事。

74年、二期会新人才オペラ

ノ伯爵、「76年には「ボリス・ゴドウノフ」のニキッティ・バッハの「カンタータ」等も歌つている。

東京芸術大学卒業、磯谷威、大熊文子に師事、「70年、藤原歌劇団の「トスカ」のアンジェロッティで、デビュ、「71年に「セヴィリアの理髪師」のバジリオ「ラ・ボエーム」のコリーネ、「フイガロの結婚」のアントニオ、「75年には二期会の「リゴレット」のチュプラー

ノ川 牧一
英子、幕田多賀子、火谷利子、牛嶋美保、佐藤明美、英三郎、莊延康、山田淳一、元、尾池利一、成瀬直行、遠藤哲朗、榎本法夫、木村真造謹爾、大崎裕久、浅子岩田典男、宇田嘉昌。

高橋啓三
原明美、中村良子、中野ま子、風間陽子、星美江、植ゆ子、上野のり子、伊原さ子、栗田弘江、小野井由美、谷島あい子、栗原秀子、沢谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田美智子、三村啓子、原光、村田千恵、八木橋弘子、村岡晴美、高橋京子、栗田久美子、柿谷房枝、打田より子、醜島祥子、内門直子、土橋郁子、佐藤ツグ、坂純子、黒川琴枝、桜井閑北川玲子、野本喜代子、芦子、草谷智意子、中条篤子、田靖子、梅田悦子、角田良子、鈴木悦子、前川光子、飯田秀子、山内敦子、馬場芳江、加藤睦、山崎美佐子、平井多美子、野田小絵、野本佳子、井上宏美、小林和子、佐藤秋子、栗原佐知子、ブレンダ・スカリー、山本美苗、原田敦子。

鈴木淑弘
秀、新祖章、金沢和則、渡辺賢治、堀富雄、木村誠、加藤広明、迢野信彦。

菊地章男、鎌田明、室谷



高橋 啓三

ツアルトの「レクイエム」、「戴冠ミサ」ベートーベンの「交響曲第九番」、「ガロの結婚」、「魔笛」などを歌っている。

合唱団紹介

ヘンプラー

英子、幕田多賀子、火谷利子、牛嶋美保、佐藤明美、英三郎、莊延康、山田淳一、元、尾池利一、成瀬直行、遠藤哲朗、榎本法夫、木村真造謹爾、大崎裕久、浅子岩田典男、宇田嘉昌。

渡辺和枝、堀江君江、渋谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田弘江、小野井由美、谷島あい子、栗原秀子、沢谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田美智子、三村啓子、原光、村田千恵、八木橋弘子、村岡晴美、高橋京子、栗田久美子、柿谷房枝、打田より子、醜島祥子、内門直子、土橋郁子、佐藤ツグ、坂純子、黒川琴枝、桜井閑北川玲子、野本喜代子、芦子、草谷智意子、中条篤子、田靖子、梅田悦子、角田良子、鈴木悦子、前川光子、飯田秀子、山内敦子、馬場芳江、加藤睦、山崎美佐子、平井多美子、野田小絵、野本佳子、井上宏美、小林和子、佐藤秋子、栗原佐知子、ブレンダ・スカリー、山本美苗、原田敦子。

大沢綾子、阿久沢千春、折原明美、中村良子、中野ま子、風間陽子、星美江、植ゆ子、上野のり子、伊原さ子、栗田弘江、小野井由美、谷島あい子、栗原秀子、沢谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田美智子、三村啓子、原光、村田千恵、八木橋弘子、村岡晴美、高橋京子、栗田久美子、柿谷房枝、打田より子、醜島祥子、内門直子、土橋郁子、佐藤ツグ、坂純子、黒川琴枝、桜井閑北川玲子、野本喜代子、芦子、草谷智意子、中条篤子、田靖子、梅田悦子、角田良子、鈴木悦子、前川光子、飯田秀子、山内敦子、馬場芳江、加藤睦、山崎美佐子、生駒孝、三村隆男、坂本宗男、米本敬一、南哲郎、宗男、米本敬一、南哲郎、松井俊治、田中宏明、大熊勝則、桜井克、石川隆彦、岡田稔、瀬島祐二、吉富正（大正十三年）十一月二十日上野の東京音楽学校演されたのは一九二四年（現東京藝術大学音楽学部）・船橋第九合唱団長）

第九文響曲 と平和の系譜

鈴木淑弘

（千葉県船橋市教育委員会
・船橋第九合唱団長）

秀男、仲田順一、西川裕二、眞造謹爾、大崎裕久、浅子岩田典男、宇田嘉昌。

渡辺和枝、堀江君江、渋谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田弘江、小野井由美、谷島あい子、栗原秀子、沢谷房子、松沢昌子、吉間悦子、栗田美智子、三村啓子、原光、村田千恵、八木橋弘子、村岡晴美、高橋京子、栗田久美子、柿谷房枝、打田より子、醜島祥子、内門直子、土橋郁子、佐藤ツグ、坂純子、黒川琴枝、桜井閑北川玲子、野本喜代子、芦子、草谷智意子、中条篤子、田靖子、梅田悦子、角田良子、鈴木悦子、前川光子、飯田秀子、山内敦子、馬場芳江、加藤睦、山崎美佐子、生駒孝、三村隆男、坂本宗男、米本敬一、南哲郎、宗男、米本敬一、南哲郎、松井俊治、田中宏明、大熊勝則、桜井克、石川隆彦、岡田稔、瀬島祐二、吉富正（大正十三年）十一月二十日上野の東京音楽学校演されたのは一九二四年（現東京藝術大学音楽学部）・船橋第九合唱団長）

ことではなく昭和三十年代の終わりころからである。

この暮れの「第九」についてのルーツについてはまだ定説はない。いくつかの暮れの「第九」の起源説はそれなりに納得されるものであるが、実はもう一つ忘れてはならない暮れの第九の系譜があるのである。

それは、今次大戦の末期東京音楽学校や東京帝国大学（東京大学）でおこなわれた出陣学徒壮行会における（第九）演奏に端を発するものである。

出陣学徒といつてもなしのみはうすいが、これは敗色の濃くなつた昭和十八年から戦場へ送られた学生たちのことである。東京音楽学校の出陣学徒壮行会は同年の十二月初旬に学内の奏学生でおこなわれ、このとき（第九）が演奏された。また、翌年の八月六日には東京帝国大学法学部でも出陣学徒壮行の（第九）演奏がおこなわれた。壮行会

が終わると学徒たちはそれが終わりころからである。それ戦場に出征していく。やがて戦争は終つた。しかし、出陣していつた学徒の多くは、ふたたび故国本土を踏むことはなかつた。それでも生き残つた何人かの学徒たちが学校にもどると、まもなく戦場で散華した友を追悼するための（第九）演奏会が彼らの手により日比谷公会堂でおこなわれた。この戦争と平和を象徴するような出陣学徒にかかる（第九）は、昭和二十九年「労音」に受け継がれ、この形式の基礎を作つた勤労市民が合唱を担当する

前橋汀子

ヴァイオリンリサイタル

〈プログラム〉

ベートーベン：ヴァイオリンソナタ

第5番へ長調作品24「春」

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンパルティータ

第2番ニ短調B W V 1004

ドビュッシー：ヴァイオリンソナタ

ドビュッシー：亞麻色の髪のおとめ

サラサーテ：アンダルシアのロマンス

サラサーテ：チゴイネルワイゼン

一般

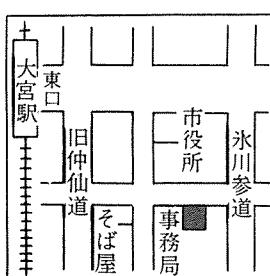
指定席 3,000円
自由席 2,500円

'84. 2/7(火) 大宮市民会館

受付時間は午前十時～
午後七時まで
日曜祭日は休み

埼玉音鑑事務所

大宮市仲町三一六五
大宮（四二）二三九〇



花房晴美

ピアノコンサート

'84. 4/12(木) 大宮市民会館

日本ファイル

名曲コンサート

'84. 6/5(火) 大宮市民会館

労音会員 大募集中!!

1984年の労音・埼玉音鑑はクラシック例会を年間に6回予定しています。労音は会員の意見と力で運営され、音楽を通して、豊かな心を育て、素晴らしい仲間とのふれ合いをお約束します。

会員は、一般料金より、はるかに安くなります。

入会金 1,200円(1年有効)

会費 1,000円(毎月納入)